

図書館だより

1992. 9. 1

第14巻2号

通巻122号

Bulletin of the Hokkai Gakuen University Library

書彩風彩

(2)

異国の風

月です。月が好き。
月夜の晩は、仕事部屋の
灯りを消して、
窓から流れ込む
青い月の光を浴びながら、
いつまでもじっと
坐っています。



地球は動く。月は登る。
川は流れる。人は夢みる。
今では平凡な光景が、1930年代上海では「夢ざめ」の世界だった。

上海は地図の上では海に面しているが、実はそうではない。長江（揚子江）の河口を上り一支流に入った奥にある。

この天然の良港、「中国の心臓部」を列強が見逃さなかった。阿片戦争をしかけ、租界を開いて莫大な富を吸い取った。そして日本が割り込んで行く。

その上海に、朝日の記者、尾崎秀実^{ほつみ}がいた。スメドレーもいて、ゾルゲがいて、そして、魯迅がいた。

やがて上海事変。

一発の砲弾が魯迅の住むラモスアパートを襲う。急を聞いてかけつけたスメドレーは彼がすじ向いの「内山書店」に避難したことを知るよしもない。

そこだけは夢風地帯。宮沢賢治が「きれいにすきとほった風を食べ、桃色のうつくしい朝の日光を飲む」ことが出来る世界があった。

（くわしくは『人間春秋一戦争と平和の世紀みつめて』（10～11ページ）をごらん下さい。）

(K)

井上ひさし 「シャンハイムーン」

いつか見ん！ 長江（揚子江）の貴き流れを！



歴史・マスコミ・人権

斧 泰彦

中国で活躍してきた海外青年協力隊員が、向こうの若者から「7・7」とか「9・18」とかいわれ、何のことか分からずに恥ずかしい思いをした、と私に話してくれたのは、つい去年のことである。1931年9月18日、関東軍が奉天（現在の瀋陽）郊外の柳条湖で満鉄線を爆破して、いわゆる満州事変の引き金となった。学校での現代史教育がおろそかにされてきた以上、青年協力隊員に限らず若者たちの無知を責めるのは酷であろう。今年の「9・18」はその60周年であった。

ことし7月7日は盧溝橋事件55周年にあたる。この事件をきっかけに日本は中国との泥沼戦争にはまり込んでゆく。関連のニュースはないかと新聞を広げると、北京で記念集会があったという小さな記事とともに、まったく別の社会ダネが目飛び込んだ。中国・雲南省の昆明で邦人女性2人を殺害したとされる中国人に対する控訴審が7月7日昆明で開かれ、控訴棄却で死刑が確定、即日処刑されたという。日本人の目には超スピード処刑と映るだろうが、中国では決して珍しい例ではない。たとえば、ことし5月20日、広東省南部の四つの市で行われた公判で25人の「犯罪者」が死刑を言い渡されたあと即刻処刑された。処刑された者のうち15人は麻薬類の密輸入、他の10人は児童を含む婦女子の人身売買および奴隷的使役を問われた。かつて北京在勤中に、中国では死刑執行の場合、銃殺用の弾丸代を「犯人」の遺族から徴収するという話を耳にした。被処刑者の遺族の思いはいかがであろうか。アジアの「人権」は欧米と物差しが違って当然なのであろうか。

話は飛ぶ。性犯罪の表現で「みだら」「いたずら」などと、変にごまかした用語が幅を利かしてきたように思う。きちんと表現している用語が、当用漢字にないからという理由で、安易に言い換えられてしまいか。私が記者時代に使用していた朝日

新聞の『用語の手引』でも「強姦」は「暴行、婦女暴行、乱暴」と言い換えて使うことになっていた。これまでは女性被害者側に配慮して、そんなむごいことに遭ったと書かれたくないだろうとされていたのだが、最近女性の側からそのような配慮は止めてほしいと言い出している。たとえ「人権への配慮」から「強姦」という言葉を別の代用表現に変えても、被害者の状況を具体的に描写してしまったのでは、人権に対する配慮が真剣になされているかどうか、疑わしいからだ。

マスコミに現れたこうした問題点を鋭く指摘した書物の一つが『メディアに描かれた女性像』（桂書房）である。メディアの担い手はまだ圧倒的に男性優位。送り手の側への女性の進出を一層望みたいが、男性の側も女性問題は自分たちの問題と受け止めなければならぬ。何よりマスコミ機関が差別撤廃と人権意識の確立に向けて真剣に取り組むことが必要だ。残念ながら前記の書は富山で出版されたもので、地方・小出版流通センター扱いである。メディア批判とか性差別問題に対する日本社会の現状を象徴しているといったら言い過ぎであろうか。加藤春恵子、津金澤聰廣編『女性とメディア』（世界思想社）もまた女性と人権の視点からマス・メディアに鋭く切り込んでいる。

「情報化」という言葉が国語辞書に初めて載ってからまだ20年足らずという。高度情報化社会はますますメディアの多様化、報道の多様化をもたらすにちがいない。隣国の人びとの「人権」、隣人の「人権」に無関心でいる限り、おのれの人権を守ることも難しいといえるのではないか。試されているのは、歴史認識とともに身の回りの「人権」と向き合う私たちの姿勢なのだ。

（おの・やすひこ 教養部教授）

デッドロックに乗り上げないための辞書

問題 「渋谷のギグから出てきたヨーコが持っていたスパンコールのついたバッグはかなりレトロでキッチュだった。」

桂 晴子

真夏の陽射しの中で「アナタハカミヲシンジマスカ」のお兄さんも必死である。久しぶりに会った友人と大通り公園を歩いていたら声をかけられた。「Sorry, but we're in a hurry.」(どう見ても急いでいるようではなかったのだが)と答えると「Oh! You speak English!」と嬉しそうである。さらに「My name is Bill. I'm...」とお喋りが続く。どうにかそれを逃れると友人が私に尋ねた。「どうして今のモルモン教の人、利殖なんかやってるの?」えっ? そんなこと言った? よく聞いてみると「My name is Bill.」が「マナービル」に聞こえたらしい。「ねえ、マナービルは日本語だよ。」これはヒアリングの問題もあるが、氾濫するカタカナ用語にも問題がある。しかも、ちゃんとした英語でもカタカナで話されると、rでもlでも、bでもvでも良くなってしまふ。デッドロック*に乗り上げちゃったり、キャストイングボート*に乗り込んだりするのだ。

そこで学生諸君、健康そうな黒い顔から白い歯が覗き、少し頭が軽くなったかもしれない夏休みから授業に戻るまでのリハビリ用として柔らかい辞典を紹介しよう。一つは日本実業出版社から1,300円で出ている「最新カタカナ用語の意味がわかる辞典」、もう少し詳しく知りたい向きには学研の「マスコミに強くなるカタカナ新語辞典」1,340円である。これがあれば以下の問題が解ける。

問題 「渋谷のギグから出てきたヨーコが持っていたスパンコールのついたバッグはかなりレトロでキッチュだった。」(解答は最後)

- (1) ギグを正しいスペリングにせよ。元はどういう意味か。
- (2) スパンコールは日本人が勝手に作った言葉であるが、語源となった単語を書け。
- (3) レトロは日本人が勝手に短くした言葉であるが本当はどういう単語か。正しく書け。
- (4) キッチュは何語か。正しいスペリングにせよ。

またどういう意味か。

さて、「曲のコンセプトがなんたらかんたら」と言っているキミ、concept, idea, thought, notionの使い分けがわかっているかな? これを知るには創拓社の「英語類語使い分け辞典」がお勧めである。調べることに興味を持つ人なら、それぞれの語がどのように使い分けられ、他の語とどういうように結び付くのかを知るのもオツなものである。

本当は日頃の勉強にどんどん英英辞典や類語辞典(THESAURUS)を取り入れてみよう。と言いたいのであるが、遊んでしまった夏休みのオツムにはそれなりのリハビリ法があるものだ。「英英辞典活用マニュアル」のような本もある。自分の興味が湧くならば、そしてせめて自分の使っているカタカナ用語がどういう言葉なのか、スペリングと正しい意味が判れば凄い単語力になるのだし、こういう柔らかい辞書も結構ためになるのだ。

…………… 注釈及び解答編 ……………

デッドロック: deadlock ①行き詰まり②暗礁: lock (錠) を rock (岩) と混同した日本的用法。

キャストイングボート: casting vote 均衡する2つの勢力に対して第3の勢力が解決の決定権を持つこと。boat (船) ではなくて vote (票) である。こんなものには乗れない。

(解答)

(1) gig: 救命用ボート、一頭引きの二輪馬車。演奏家の一定期間の仕事。(転じて最近ではコンサートのこと)

(2) spangle (3) retrospective

(4) kitsch: ドイツ語、通俗的・低俗、俗悪なもの、まがいもの。現代ではごてごてした悪趣味な飾りをわざと芸術作品やファッションに取り入れることがあり「キッチュな感覚」などと呼ばれる。(かつら・はるこ 教養部講師)

一寸借用のつもりが

北海道新聞の5月31日付け日曜版の『地域から意見・異見』欄に室工大図書館司書の山下利明氏が『図書館は信頼で成り立つ』というタイトルで本州の某大学の例を挙げ「うちの学生はよく勉強しますが、あろうことに本の無断持ち出しが頻発し……」と諸々を述べていた。そして筆者は利用者との人間関係ではお互いの信頼関係を持ちBDS(ブック・ディテクション・システム)盗難防止装置の設置を否定し、最後に『願わくば、将来とも警備員ではなく、「知」を楽しむ司書でありたい——』と筆を止めている。この意見に私も同感であり利用者を信じたいところである。

しかし、残念ながら本学の図書館でも某大学と類似した現象が時々見られるのである。大多数の学生は正規の手続きを取り本の貸出しを行っているのに対し、ごく一部の学生であるが、「無意識的・意識的」に本を無断に持ち出し、BDSの発信音が館内に鳴り響く『ピーピーピー』、時折、誤作動もあるものだから、館員は不安げに学生に問う。『もしかして貸出し手続きをせずに本を持ち出しておりませんか?』と、問われる学生も嫌な雰囲気! でしょうが、問う館員もそれにも増して緊張し言葉を発するのである。このような異様な雰囲気に出会うことはお互いに是非避けたいものである。またこの様な事例が! 学生『以前にこ

れこれの本を借りました。再度借りたいのですが?』館員はあちこち探し回り『この本は確か複本を入れているはず! 貸出しもしていない。無々・不明図書?』貸出し希望者に何と答えればよいのでしょうか?……書棚に並ぶ本を一寸手にして下さい。どの本も背表紙の下にラベルが貼られ分類番号が記され、また表題紙にゴム印と年月日と番号が押印されております。この目立たぬ数字の配列こそが唯一、本に表現された我々館員の作業が集約されたものなのです。このちっぽけな作業の表現ですが、ここまで至る過程は決められた作業規則にのっとり、館員20数名が日々整理作業を行ってようやく書棚に並べられるのであります。このたった1冊の本ですが、これは皆さんの共用物であり、本学の財産であるとともに館員の汗の結晶なのです。また、希望する図書をせっかく見つけても限られた冊数しかありませんので決して独占私物化することなく、利用希望者が他にいることをお忘れなく、どうぞ分かちあって利用していただきたいのです。

最後にカウンターに立つ館員は『警備員』になどなりたくありませんし、警備も出来ません。利用者と館員が信頼関係で結ばれているのが図書館であると思いますので今後とも図書館利用者を信頼し続けます。(H. T)

新着図書 — 教養部

自然景観の読み方 5 貝塚爽平/明治百年史叢書 403 農商務省鉱山局編/ビュフォンの背物誌 G. L. ビュフォン C. S. ソンニーニ編 荒又宏監修 B. 直美テキスト翻訳/大博物学者ビュフォン—18世紀フランスの変貌する自然観と科学・文化誌 J. ロジェ B. 直美訳/統計処理 吉澤正/ギリシア悲劇全集 9 松平千秋[ほか]編/宮崎市定全集 2 宮崎市定 佐伯富[ほか]編/學海日録 4 依田学海 市川任三[ほか]編/大航海者の世界 5 増田義郎企画・監修/娯楽としての殺人—探偵小説・成長とその時代— H. ヘイクラフト 林峻一郎訳/日本幻想文学集成 11、12 国書刊行会/基本プログラミング 笈捷彦/遠山茂樹著作集 2 遠山茂樹/生命をつくり変える—バイオテクノロジー—革命— G. J. V. ノッサル 丸山工作 石川統訳/現代イギリス女性作家を読む 3—5 現代女性作家研究会編/ドイツ・ロマン派全集 20 前川道介編/科学と懐疑論 J. ワトキンス 中才敏郎訳/結晶と煙のあいだ—生物体の組織化について— H. アトラン 阪上脩訳/察変源氏物語 9、10 紫式部[原著] 橋本治

●蔵書冊数の推移●

平成4年3月31日現代の蔵書冊数

総計表 (1)+(2)

	和書	洋書	合計
冊数(冊)	339,717	116,358	456,075
和・洋書比率(%)	74.5	25.5	100

(1)年度別受入図書の本数表(過去10年間の推移)

年 度	和 書(冊)	洋 書(冊)	合 計(冊)	昭和57年度を100% としての伸び率 (%)
昭和24年～56年	147,095	62,520	209,615	
57年	10,700	3,920	14,620	100.0
58年	9,400	5,280	14,680	100.4
59年	11,640	3,860	15,500	106.0
60年	13,360	6,560	19,920	136.3
61年	17,841	6,762	24,603	168.3
62年	15,799	5,198	20,997	143.6
63年	19,640	5,400	25,040	171.3
平成元年	20,820	4,500	25,320	173.2
2年	17,680	4,600	22,280	152.4
3年	18,428	6,519	24,947	170.6
合 計	302,403	115,119	417,522	

(2)文庫等の蔵書数

文庫名	北駕文庫	戸津文庫	上原文庫	小林文庫	卒業論文	修士論文	合 計
和 書	31,113	891	2,765	2,197	301	34	37,301
洋 書	—	58	606	575	—	—	1,239
合 計	31,113	949	3,371	2,772	301	34	38,540

図書館展示会のお知らせ

北駕文庫所蔵 国文学、漢籍貴重書展

～1992年度 和漢比較文学会開催記念～

(図書館展示会きかく No.17)

場所；北海学園大学附属図書館1F；展示コーナー

期間；平成4年9月24日(木)～11月末日

教養部

新着図書

人間とマンボウ 北杜夫／男対女 犬養道子／斎藤茂吉の書 山上次郎^{みなそこ}／水底の歌一柿本人麿論一上・下 梅原猛／日本中世の社会と民衆 稲垣泰彦／年刊歌集 1975～1978 年版 日本歌人クラブ年刊歌集 編集委員会編／日本体育協会七十五年史 日本多急団妙[編]／この父にして 斎藤茂太 北杜夫／廓(くるわ) 西口克己／今日は明日の前の日 犬養道子／萬葉集古義 1-12 鹿持雅澄／革命か反抗か一カミュ=サルトル論争一 A. カミュ P. サルトル F. ジャンソン 佐藤朔訳／歌集霜 齋藤茂吉／近代教科書の変遷一東京書籍七十年史一 東京書籍株式会社社史編纂委員会編／近代日本文学を学ぶために一近代日本文学研究文献総覧一 出口一雄編／誰のために愛するか一すべてを賭けて生きる才覚一 曾野綾子／婉という女 大原富枝／鑑真 安藤更生／現代英語教育講座 1、2 福原麟太郎[ほか]監修／大田区史一資料編一 [東京都]大田区史編さん委員会編／奥羽蝦夷松前箱館征討日誌 福山市鞆の浦歴史民俗資料館活動推進協議会編／ベティさんの庭 山本道子

ヒマラヤ紀行・その2

チョモランマベースキャンプへ

高橋伸幸



高度順化をしてきたとはいえ我々は基本的には低地の人間である。大量の荷物を担いで山登りをするなどとても無理な話である。

キャラバン開始日の朝8時前から村の広場にはめったにない現金収入の機会を求めて近郷近在からやってきたチベット人ポーターが集まり始めていた。それから2時間、その数は400人を越えている。彼らは各集落単位で纏まり屯している。その中には娘達だけのグループもある。彼女らにとって、いわゆる3Kなどという概念はない。総重量6トン半の隊荷が集落ごとに割り当てられてくが、その作業が各グループの思わくもあって遅々として進まない。作業の中心人物は、この辺り一帯の纏め役とネパールから我々に同行してきたシェルパのリーダーである。チベット語の分からない我々には口を出せる訳もなく、大変だと思いつつも高見の見物である。荷物分配が終わり、最初のグループが広場を出発していったのは11時、それから1時間余り経って漸く全グループが出発していった。と思ったのも束の間、最初のグループは広場から30分も行かない所で茶飲みを始めている。中にはチャンという地酒を飲んでいるヤツもいる。そしてやおら動き出したかと思ったら10分もしないうちに休憩をとる。我々の感覚すると、休憩の途中に歩いているようなものだ。チベット人のこのような行動に日本人隊員やシェルパ連中は随分イライラさせられたが、なにせ多勢に無勢、400人対30人では敵う訳がない。それ以前にここはチベットである。顔かたちは同じでも日本人の感覚や思わくなど通用するはずがない。以後、

キャラバンはチベット人のペースで続けられることになった。

一日の行動は、午前8時半、シェルパの給仕係の「グッドモーニング サー、ティー」で始まる。かつてイギリス人と接触の多かった彼らの中に残っている習慣である。寝袋に足をつつ込んだまま、テントの入口から甘いミルクティーを受けとる。それから1時間後に朝食。朝食終了後テントの撤収と出発準備。そしてチベット人ポーター連中が出発していくのを見届ける。そんなことをしている間にこちらの出発は正午近くになってしまう。

キャラバンは早春のヒマラヤの谷を進んでいく。シャクナゲはまだ堅い蕾のまま、5,000mを越える峠には残雪があるが、日中の日差しは強く、日溜りには高山植物が可憐な花をつけ始めている。キャラバン開始から5日目、ランマ・ラという峠を越えた途端、雪と氷の白い鎧を纏った7,000m峰が視界に飛び込んできた。いよいよ白き神々の座の奥深くへと入り込んできたことを実感する。さらにキャラバンを進めるにつれ、マクルーやローツェといった8,000m峰が姿を現わし、その先、谷のどんづまりに目指すチョモランマ峰が圧倒的な迫力で控えていた。しかし、その絶巔は常に雲を纏い、中々我々の前にはその全貌を現わそうとはしない。

キャラバン開始後10日目にして遂にチョモランマ東壁を見上げる標高5,400mの氷河上にベースキャンプを定めることができた。

(たかはし・のぶゆき 教養部助教授)

新着図書 — 法学部

新判例コンメンタール民法14 島津一郎 久貴忠彦編/大コンメンタール刑法別巻 大塚仁[ほか]編/法令全書1992.3、4/実務解説株式会社法 中 柳田幸三 吉戒修一監修/英米法辞典 田中英夫編/資料現代行政法1 室井力編/現代法社会学の諸問題上—黒木三郎先生古稀記念[論文集]— 黒木三郎先生古稀記念論文集刊行委員会編/樞密院會議事録—国立公文書館所蔵—44、45/利己的な遺伝子 R.ドーキンス 日高俊高[ほか]訳/臨死の思想—老いと死のかなた— 山折哲雄/機械の中の幽霊 A.ケストラー 日高敏隆 長野敬訳/マイスター独話辞典 戸川敬一[ほか]編/犯罪精神学 中田修/刑法における違法性の理論 佐伯千仞/現代刑法講座2 中山研一[ほか]編/法律用語対訳集英語編 法務省刑事局外国法令研究会編/死の育て方—向きあうよりも並んでしまう— 中沢正夫/刑法における違法性の理論 佐伯千仞/過罰的違法性論の研究 前田雅英/精神分裂病と犯罪 山上皓/小学館プロGRESS英和中辞典 小西友七[ほか]編

二言語国家の首相

大江 敏 美

隣国である USA との協調を失えば、吹き飛んでしまうのがカナダの現実である。太平洋を挟んで USA の隣国である日本もカナダと同じ境遇にあることを認めざるをえない。カナダの首相であったディーフェンベーカー（在職 1957-1963）は、ケネディ大統領と不和になり、危機感をもったカナダ国民は彼を政権の座から引き降ろしてしまった。それ以後の首相も対米考慮が国の運命にかかわることを十分に承知している。現在のマルルーニ首相は、未曾有の経済不況のため、人気は下降するばかりで、世論調査では支持者は 10 パーセント位に落ちている。しかし、苦勞人だけあって気配りにかけては抜群の人物である。日本でスキャンダルを起こした宇野首相や、指導力に問題のあった海部首相を、国際会議などの席で下にも置かないように、もてなしたことは、心暖まる思いがする。

マルルーニ少年はアイルランドからの移民を両親（父は電工）として、ケベック州で生まれ育った。ケベック州はフランス語、カトリック、フランス文化が主流を占めている。カナダ（面積は日本の 26 倍、人口は日本の 2 割）の全体に対し人口では 25%が、面積では 15.5%がケベック州で代表されている。マルルーニ少年は幸いにも英語とフランス語を自由に操られるようになった上、文化背景的にも英仏両方に強いということが他人に対する思いやりとともに、政治家として台頭する要因となったのである。カナダの首相は、英仏両語で国民を説得しなければならないからである。

さて、現今の如く世界各地における民族国家独立運動の盛んな時代にあっては、ケベック州が独立しても不思議なことではないし、その損得はケベック州内外で声高に論議され続けている。近く分離独立を回避する改正憲法をめぐって各州議会の批准やケベック州の州民投票が行われる。

カナダでは、サービス産業部門はさておき、製造工業部門では大規模な失業が発生している。その主たる理由は企業が賃金の安い（カナダ労働者の 10 パーセント）メキシコに工場を移しつつあるからである。カナダの子供たちにとって、就職を確実にするためには、マルルーニ首相のように英語もフランス語もできる者の方が有利である。ケベック州及びニュー・ブランズウィック州の子供たちは英語を第 2 言語とし、同州以外の州ではフランス語を第 2 言語として、幼稚園から大学に至るまで第 2 言語の学習が奨励されている。これはもったもなしなことといえよう。その方式は水浸し方式（イマージョン）といって、授業中は一切第 1 言語を使わせないことで成果をあげている。

マルルーニ首相は先に米加自由貿易協定を成立させたが、現在アメリカーナ（アメリカ、メキシコ、カナダ）経済圏の形成の合意をみている（北米自由貿易協定）。それが実現すれば、スペイン語（メキシコの公用語）が第 3 言語となる可能性もある。

（おおえ・としみ 教養部教授、4月までカナダ・レスブリッジ大学客員教授）

法学部 ———— **新着図書**

講座現代家族法 4 川井健〔ほか〕編／実務解説株式会社法 下 佐藤修市〔ほか〕 柳田幸三 吉戒修一 監修／現代社会と実質的犯罪論 前田雅英／純粹法学と憲法理論 新正幸／公務員試験によく出る重要判例 400—'93 年度版— 資格試験研究会編／公務員試験 試験問題集 1-10 —'93 年度版— 1. 国家 I 種教養 2. 国家 I 種専門 3. 地方上級教養 4. 地方上級専門 5. 国家 II 種 6. 国税専門官 7. 東京都・特別区（I 種・II 種） 8. 地方中級 9. （大卒程度）警察官 10. （大卒程度）技術系 資格試験研究会編／公務員試験地方上級（国家 II 種・国税専門官）合格体験記集—'93 年度版— 実務教育出版編集部編／公務員試験教養分野問題集 1-5 —'93 年度版— 1. 社会科学—政治、経済、社会・思想、国際関係— 2. 人文科学—日本史、世界史、地理、文学— 3. 自然科学—物理、化学、生物、地学、数学— 4. 文章理解—現代史、古抄・漢文、英文— 5. 数的推理—判断推理、空間把握、数的推理、資料解釈—

目録の種類と使い方編

希望の本が閲覧室の書棚に見あたらないときは、カード目録を使って蔵書を検索することが必要になります。和書目録は2F、洋書、ロシア語目録は3Fにあります。件名目録は和洋書混配で2Fにあります。

次に、目録の種類と使い方及び資料の検索方法について説明します。

1. カード目録の種類と使い方

本学のカード目録はいくつかの図書の検索方法に対応できるように3種類あります。

① 図書の内容主題から検索できる図書の主題と形式の類似性により体系的に配列した分類目録

○分類目録を利用して図書を探す方法：まず、2、3F閲覧室にある分類表かカード目録見出しから探している主題の分類番号を探します。→その分類番号を手掛かりに分類目録を調べます。

② 個人、団体著編者名や書名（全集、双書名、参考図書、事・辞典書名、雑誌、年鑑、年報、無著者古典書名、出版社名等）から検索できる著者目録（書名目録も著者目録に混配している）

③ 主題テーマに関するキーワードから関連する主題の和洋書と雑誌さらに雑誌特集記事内容までも同時に検索できる件名目録（件名；個々の図書には、その内容に応じて、件名（＝主題を表す言葉）が与えられ、件名は検索見出し語としてカードの上部に表記されています）

○件名目録を利用して資料を探す方法：まず、自分が探している主題を具体的かつ明確に表している言葉を考えます。たとえば、「経済」ではなく「経済倫理」「経済数学」「経済法—ドイツ」「経済成長」「経済計画」「経済指標」「経済—歴史—19世紀」「日本—経済」「カナダ—経済関係—アメリカ」「計量経済学」「ケインズ経済学」「経済学—古典学派」「家庭経済」「戦争と経済」というように考えます。→次に、その言葉を件名目録で調べます。→探している主題を表す言葉が件名目録の中に見あたらない場合は、件名標目表を見て、他に関連のある件名を探してみます。

「国立国会図書館件名標目表 第5版 1991」を参照します。→探している主題に関連する件名が、件名標目表の中で見つかったら、再度、件名目録を探してみます。

2. カード目録上の基本的な図書データ内容

○単行本の場合：

(検索見出し語；Key word)	
分類番号	(件名ひらがな読み)
著者記号	書名 ; 副書名 , by 著者 and 著者. Ed. by 編者. Tr. by 訳者(4つあけ) 出版地 , 出版社 , 出版年 (5字あけ) ページ数, 本のタテ cm(シリーズ名; vol.23) ISBN (国際標準図書番号) 0-23-6589
学部略称	注記事項
登録日付	
価格	
登録番号	1. 件名 2. 件名 I. a.2(著編者2名を検索見出し語とする) II. ed.(編者1名) III. Tr.(訳者) IV. シリーズ名; 番号 ○

○全集、双書の場合：

(検索見出し語；Key word)		1/2
分類番号	(件名；ひらがな読み)	
著者記号	シリーズ書名 ; 副書名 , vol.1-8.(2字あけ) Ed. by 編者 and 編者 出版地 , 出版社 , 出版年 (5字あけ)8v. ページ数, 本のタテ cm ISBN (国際標準図書番号) 0-23-6589	
学部略称	注記事項	
登録日付	Conts.(全集;各巻内容)	
価格	Vol.1; タイトル , by 著編者	
登録番号	Vol.2; タイトル , by " "	
登録番号	Vol.3; " "	
	Vol.4; " "	
	1. 件名(全集レベル) 2. 件名(各巻レベル) Vol.1; , Vol.2; ~ I. ed.2(全集レベル著編者2名を検索見出し語とする) II. Vol.1; conts.a(ed.)~(各巻著編者)	
	○	Contd.(次カードへ続く)

カード目録の実例その他、カード目録の使い方の詳細については、「図書館利用案内」をご覧ください。(S)

新着図書 — 経済学部

家計調査年報 平成3年 総務庁 統計局編/現代原価計算上・下 坂本清編/社会経済史学の課題と展望—社会経済史学会創立60周年記念— 社会経済史学会編/日本の労働組合の現状—労働組合基本調査報告—平成4年版 労働大臣官房政策調査部編/過疎対策の現況 平成3年度版 国土庁地方振興局過疎対策室監修/企業財政論 岡部政昭/マーケティング 上田隆徳 江原淳/ストック経済の構造 岩田規久男/現代経営学8/総合政策—建設省・運輸省・中小企業庁・農林水産庁—平成3年版/統計学 大屋祐雪[ほか] 吉田正[ほか]編/演習統計 近昭夫[ほか]/企業形態論 小松章/商工労働観光白書、資料編 平成3年度 北海道商工労働観光部編/転蓬廿年—書評にみる日本経済評論社の本—日本経済評論社[編]/大日本商業史—附平戸貿易史— 菅沼貞風/ハイエク全集3 F. A. von ハイエク 西山千明[ほか]監修/地域指標ハンドブック—北海道東北地域の現状— 北海道東北開発公庫開発企画部編/金融資本市場の環境と機能変化 日本経済研究センター[編]

一生万里 銀河千彩

もう一つの“悲愴ソナタ”

「音楽の泉」の皆川達夫がベートーヴェンの「悲愴ソナタ」の第一楽章を「青春の血のたぎり」と評した。

1930年代中国でその第一楽章を予感したのは朝日の記者、尾崎^{ほつみ}秀実ではなかったか。

「ポーツマスの旗」で知られる外交官、小村寿太郎の娘ムコがナゾノ死をとげたのは明らかに日中和平派つぶしだった。上海でも記者会見が開かれて、尾崎は一人食い下ったという。「総領事の反感」をいたくかったことが後のあの「ゾルゲ事件」への伏線とはならなかったか。

総領事はやがてミズリー号上で降伏調印の全権代表、重光葵その人だった。戦後は外相、変わり身の速さというのはこういうことか。

ベートーヴェンの「悲愴ソナタ」第2楽章は「讚美歌を想わせる幸福感に満たされた楽章」と皆川達夫氏は言う。

同じ1930年代、やはりあの戦乱の中で奇しくも歴史から消えた巨人がいた。その人の名は張学良。

ところが、1、2年前、磯村尚徳氏がまだNHKのキャスターだった時、この張学良とのインタビューが放映され世を驚かせた。

日本軍によって爆死させられた張作霖を父にもつこの満州の実力者は当時38歳。蒋介石軍の一司令官として共産軍と奥地で戦っていた。これに疑問を感じた彼は周恩来と結んで蒋介石を生け捕り

に。のちにこれが「国共合作」を導びく。

あの時、会談したのは周恩来と張学良そして蒋介石夫人、宋美齡。彼女の姉こそ孫文夫人、宋慶齡。上海名家の生れ。姉は本土、妹は台湾と歩む道は別れた。

「それは聞かんでください。かんべんして下さい」と彼はあの時の会談にはなぜか触れない。

彼はやがて、己から蒋介石に下り、幽閉の道を選んだ。何故だったのか。彼は明かさなかった。いずれにせよ青春の血のたぎる「西安事変」。その年、1936年、魯迅が世を去っていた。

今はようやく幽閉の身が解かれ、台湾で教会に通う平凡な日々という。巨人達はすでにない。戦争と平和を生き抜くにはこういう道もあったのかと驚かされる。

最近の報道によれば、張学良氏は中国から招かれて、西安を訪れるという。94歳にして快活。

彼のような自由な発想の持ち主が歴史の中にひそんでいたのは、中国の成熟にとって大きな損失だったともいえる。

ベートーヴェンの「悲愴ソナタ」の第3楽章は軽快で速いロンド楽章だ。皆川達夫氏は「ベートーヴェンの音楽を聴く幸福感に満ち満ちている」という。張学良氏の今はこのようなものではないのか。

(K)

経済学部——新着図書

電発30年史／鹿島開発史、資料集、写真集 鹿島開発史編纂委員会編／開発建設部十年のあゆみ 沖縄総合事務局編／鹿島港建設記録／創造限りなくトヨタ自動車50年史、資料集—トヨタ自動車編／日本原子力発電三十年史 日本原子力発電株式会社30周年記念事業企画委員会編／図説農業白書 平成3年度 農林統計協会編／保険の社会学—医療・くらし・原発・戦争—本間照光／十五年戦争極秘資料集26／地域経済学 宮本憲一[ほか]／地域環境と資源問題 森俊介／保険の社会学—医療・くらし・原発・戦争—本間照光／経済要覧1992 経済企画庁 調査局編／林業白書平成3年度 林野庁編／系列の研究—年報—非上場企業編 国勢調査報告第2巻その2 総務庁統計局編3. 岩手、8. 茨城、12. 千葉、16. 富山、31. 鳥取、37. 香川、40. 福岡／豊かな国、貧しい国 本山美彦／高齢化時代の社会経済学 宮島洋／経済産業雑誌記事索引—Joint 累積版—80/84 1—5, 7—9. 総合索引 経済文献研究会編／人口分類と階級分析—フランスの社会職業分類— 杉森混一

病気の百貨店 治した花は

— その名も麗わし
雷小宝

すでにこ承知の通り、
魯迅先生のからだは病魔の巣窟、
いわば病気の百貨店です。
また痛みの乗合バスでもある。
さらに足かけ八年の長きにわたる
上海での過酷な地下潜伏生活。

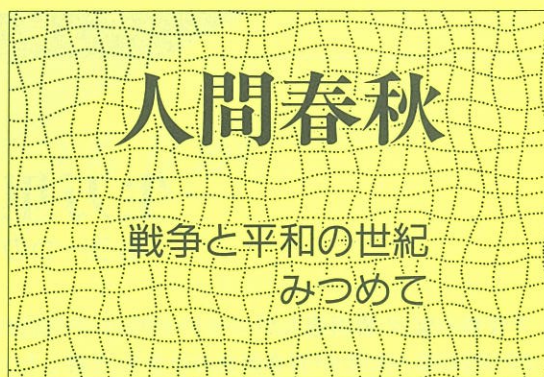
内山書店には折よく二人の医師が訪れた。これがチャンスと彼らは魯迅を治しにかかるが、治そうとすればするほど病気はもつれ気味。

「歯痛」の治療に用いた“笑気ガス”で「人物誤認識」を誘発してしまう有様。ちなみに、居合わせた人々(登場人物)を魯迅はどう取り違えたか。

藤野先生(主治医の須藤) 仙台医専(現東北大学医学部)時代指導を受けた教師。同僚が、東大出、医学博士の肩書きで教授となる中で、ただ一人教授とならず退いた。

洛文(若い歯科医、奥田) 魯迅が実の弟のようにかわいがった若い作家の代表。

秋謹(内山書店主、完造の妻みき) 魯迅より6歳年上の女流革命家。孫文率いる中国革命同盟会



ほんのり あつたか
井上ひさし

の一員。31歳で処刑される。弱腰な魯迅に短刀を投げつけたという。

朱安(魯迅第二夫人、広平) 魯迅より3つ年上の第一夫人。魯迅の母が金のために結婚させた相手という。つくった料理に箸をつけなかった。と言う具合で、これらゆかりの人々に、「すまない」と頭を下げつつける。

これがさらに悪化して「失語症」。「私は魯迅です」を「私はおじん」という始末。

医者たちが治せなかった病気も、孤児から成長した19歳の看護婦“雷小宝”の物語から、魯迅は別人のように回復した。

魯迅は1936年没。55歳。実際疾った病名は「肺結核」「肋膜炎」「腸弛緩」「心臓性喘息」「胃拡張」の五つと“医者ぎらい”だった。(K)

新着図書 — 工学部

家康入国 水江漣子/GA (Global Architecture) Document—世界の建築— ADA EDITA / 住まい学大系 45, 46. 離島寒村の構図—森と海とコスモロジー— アーバン・ファサード—都市は巨大な着せかえ人形だ—磯崎新十篠山紀信建築行脚 7 メディチ家の華—サン・ロレンツォ聖堂—芸術学フォーラム 1 谷村晃[ほか]編 芸術学の軌跡/LISP 2 P. H. ウィンストン B. K. P. ホーン 白井良明[ほか]訳/環境六法 平成4年版 環境庁環境法令研究会編/ヨーロッパ統合 鴨武彦/ジェスチャー—しぐさの西洋文化— D. モリス[ほか] 多田道太郎 奥野卓司訳/モンゴル万華鏡—草原の生活文化— 小長谷有紀/日本の女性の歴史—性・愛・家族— 総合女性史研究会編/日本のODAをどうするか 渡辺利夫 草野厚/江戸幕府—破産への道—貨幣改革のツケ 三上隆三/実証古代朝鮮 井上秀雄/色彩の発見 小町谷朝生/GA (Global Architecture) Document—世界の建築— ADA EDITA / 建設小六法平成4年版 学陽書房編集部編/建設統計要覧 1992 建設省建設経済局監修

日本人にせよ、中国人にせよ、
本を読む人間に悪人がいるはずがない。

小説は、「シャンハイムーン」は、
もう書けないかもしれません。それでもいい。
雑感文でこの世の中の欠点をつく。
つきつづける。

もう一人のかんぞう氏も クリスチャン!?

— 内山書店の人々

内山書店主人、内山完造氏。内村鑑三氏がクリスチャンなら、内山完造氏もクリスチャンである。「大学目録」(本文)の上海地区販売拡張員だった彼は旅に出ることが多かった。妻みきさんのために手元の本を戸口に並べ無料で貸し出したのがきっかけという。二人は人生に共に迷い京都の教会で知り合った。

日本人が多く住む上海の北四千路にあった「内山書店」はつけの客大歓迎であっただけでなく、お茶をすすめる店としても知られた。

その常連に、魯迅がいたし、朝日の記者、尾崎秀実がいた。

完造氏はある時、長江(揚子江)の氾らんのたびに書店が水びたしになるので、洪水対策を尾崎に話したことがあった。彼はさっそく上空を飛び記事にしたという。(尾崎秀樹『上海1930年』、岩波新書。1989年)。内山書店はのちに中国関係の出版を手がけた。

山鳩 栗の実 瀬月草

— “四捨”をみつめる縄文作家

魯迅が書かなかった「シャンハイムーン」を井上ひさし氏は書いた。もし、魯迅がこのような小説を書いていたら我々はずっと彼の作品に親しみをもって触れる機会があったろう。

井上ひさし氏の中に流れる情感は「ほんのり、あったか」だ。我々は彼の中に縄文人を見出す。

『ひょっこりひょうたん島』が彼の作とは知らなかった。あのドン・ガバチョに対して抵抗する子供達はなるほど井上ひさし流だ。

『四捨五入殺人事件』で若い助手が作家に向かって言う。「作家というのは農民から米をもらうかわりに権力を見張る人のことでしょう」と。

不思議なことに、本名は「内山書店」と同じ「内山」。やはりクリスチャン。5歳で父と死別、仙台の教会施設で育つ。大学に入ったが講義に失望、休学したことも。本当の道を「芝居小屋」で見出した縄文の知求人。今は鎌倉に住む。芝居のシーズンには「井上ひさし氏の筆いまだ進まず」と新聞紙上をにぎわす。順延が今では大家のあかし。

(K)



工学部

新着図書

化学総説 季刊 14 (1992) 日本化学会編/企業の全部門にわたる経営管理公式集 窪田千貫/数値計算の方法と BASIC プログラム 林英輔/BASIC 演習—基本習熟のために 塚本正文 増水紀勝/構造力学演習—静定編— 吉田博/林業白書 平成3年度 林野庁編/JIS 総目録 1991 日本規格協会編/構造工学論文集 38 A (1-3. 討議集) 土木学会編 日本学術会議構造工学研究連絡委員会監修/数理統計化学 伊東由文/21世紀に向けての90年代の交通政策の基本的課題への対応について—運輸政策審議会答申— 運輸省編/地域交通年報 平成3年版 運輸省地域交通局監修/学生のための FORTRAN—JIS 上位水準による— 秋富勝/地下環境工学大深度地下空間の物理的特性と防災 V. S. ブックリ R. D. ラマ 井上雅弘[ほか]訳/パソコンで学ぶ基礎数学 伊藤直人/地下都市は可能か 平井堯/情報処理用語辞典 富士通編/デジタル IC 回路の実用設計法—from TTL to PLD— 大森学/日本河川水資年鑑日本 河川協会編 建設省河川局監修/現代アラブ思索の旅 小山茂樹

山と「旅路」と経済学 未完成の編集から その2

『梟』と『こまくさ』に惹かれて

柴田 義人

北海学園大学の二部の学生諸君によって『梟』が創刊されたのは、1959年（昭和34年）である。私が本学へ迎えられたのは、その前年だったが、2部のことを意識せずに赴任したので、その年は1部では経済原論、2部では経済学史を講義することになった。私はその時、講義やゼミナールのなかで、働きながら学ぶ学生諸君の「梟」のそれにも似た瞳の輝きにたじろぎを覚えたことを、今でも鮮明に思い浮べることができる。この『梟』の創刊号に「ミネルヴァのふくろう」という、大変気負った拙文が残されている。それは「ミネルヴァの梟は襲いくる薄暮をまっけてその飛翔を始める」というヘーゲルの言葉を素材にミネルヴァの梟（＝知性）が変革の時代の嵐の中で、なす夜明けとともに不死鳥のように飛翔することを期待したものであった。

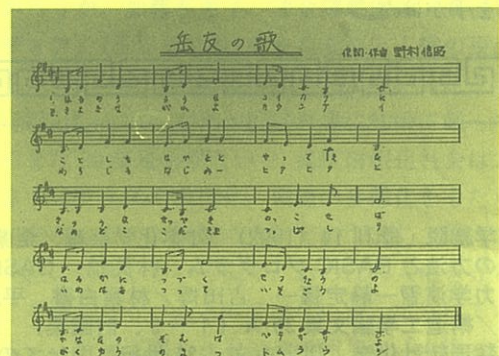
ところで、北海岳友会が結成されたのは、1957年（昭和32年）であった。私は翌33年の夏山合宿に参加し、石狩岳から沼の原・五色ヶ原を経て、トムラウシ・オプタテシケを越え十勝岳に至る裏大雪縦走の感想を、「霧の中を」と題して、『こまくさ』創刊号（昭和34年）に寄稿し、台風11号に伴う暴風雨の中でも、ヘルマン・ヘッセの「霧の中」の孤独の憂愁を感じることがなかった一週間を、岳友への感謝をこめて綴ったのだった。この『こまくさ』創刊号が熱い期待をよせて次のように紹介された。当時の『山と渓谷』（1959年7月号）にく北海岳友会1月25日に「こまくさ」を創刊した。北海学園大学の夜間部に生れた岳友会は、会員70名を擁し勤労と学問の間にあって活動を続ける特異な山岳会である。（中略）今後の活躍を祈りたい。）

私は、『梟』第2号（昭和36年）には「北海岳友会とともに」として、「新しい年は雪の中で明けた」にはじまる正月の羊蹄山合宿、早春の札幌岳・漁岳縦走、ゴールデン・ウィークの知床遠征、夏山合宿、秋の中山小屋の小屋納めなど、1960年（昭

和35年）の山行メモを散文詩風にまとめた。また、『こまくさ』第3号（昭和37年）に、私は「中山峠と中山小屋」を載せて、昭和35年7月3日の中山小屋の小屋開きを記念するとともに、「人間愛の大きな象徴」（田部重治『若き日の山旅』）としての峠の意義について触れ、「この秋の中山小屋の山納めには、二人で生きる幸せを得て二人で加わることができた。山に登ることは、明らかに、ある種の限界状況における人間的行動に直結している。だから、その厳しさから解き放されて山小屋に集うとき、あの憧れの自然との个性化的な交わりの喜びが、はじめてみずからのものになるのだろうか」と、登山讃歌を著している。

生来病弱であった私が、現在健康を保持し得ているのは、大学時代に山歩きをはじめたからである。北海学園大学では北海岳友会の温かい友情に恵まれて、本当に幸運であった。残念なことには数年前、裏大雪縦走の名リーダーであった細岡高栄さん（昭和30年3月卒）が亡くなられ、この5月には、私どもが媒酌をつとめた渡辺（旧姓藤田）美恵子さん（昭和41年3月卒）が急逝された。北海道岳友会の野村信昭さん（昭和44年3月卒）作詩・作曲の「岳友の歌」を故人の霊前に捧げるとともに、今はひたすら、故人のご冥福とご家族の平安をお祈りしたい。（1992.8.10）

くしばた・よしと 経済学部教授



北海学園大学附属図書館報 図書館だより Vol.14 No.2 (通巻122号)

本館 〒062 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 工学部図書室 〒064 札幌市中央区南26条西11丁目
☎ (011) 841-1161 本館内線 270-275・279 工学部内線 813・814 印刷所: 株共同印刷